

「算数科」(グループ)学習指導案

1. 日時 令和〇年〇月
2. 場所 第3学年 〇組教室
3. 学部・学年・組 小学部第3学年5名 第4学年1名
4. 単元(題材)名 「かたちをつくろう」
5. 単元(題材)目標
 - ・さまざまな形の特徴を理解し、分類することができる。(知・技)
 - ・形を合成して、身の周りにある形に置き換えることができる。(思・判・表)
 - ・学習内容を理解して、自ら課題に取り組んでいる。(学・人)

6. 児童観 略

7. 教材観

本単元では、学習指導要領の「図形」の小学部3段階の内容を扱っており、色板を合成して形を作り、具体物に置き換えることで、図形をさまざまな視点で捉える感覚を養うことをめざす。

「かたちづくり」では、二等辺三角形の色板を使って形を作る教材である。色板を回転させたり、いろいろな方向に動かしたりして、図形を捉える力を身に付けることができる。色板の大きさやヒントカードに記載する形は難易度で変えることができる。そのため、自信がない、完璧にすることにこだわる等の実態や手指の巧緻性に応じて、段階的に難易度を上げていくことができる。

個別課題は、全体の授業では補えない漢字や計算等の課題に取り組む。児童によって課題プリントの枚数や進めるペースが異なるので、タイマーを用意して終わりを意識できるようにする。

8. 指導観

「かたちづくり」では、教員が作った形をはじめに提示することで、課題に興味をもたせる。自分で考えて形を作ることが難しい児童や、自信がない児童には、実態に合ったヒントカード(見本)を渡し、なるべく少ない支援で取り組めるようにする。また、課題の手順表を用意し、一人で課題を進められるようにする。ヒントカードや手順表を用意することで、「一人でできた」という達成感に繋げていくことをめざす。第3時では、色板2枚でできる図形と3枚でできる図形を作る課題、第4時で色板を使って三角形と四角形を作る課題に取り組んでおり、それらを活用して形を作ることをねらいたい。児童によって課題に取り組むペースに大きく差があるため、タイマーを用意したり、早く課題が終わった児童には別の課題を用意したりする。

9. 単元(題材)の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① 身の周りにある形の特徴を捉えている。 ② 形の属性に着目して分類している。	① 身の周りにあるものから、いろいろな形を見つけている。 ② 色板を合成して形を作っている。 ③ 図形を合成して形に置き換えている。作った形から具体物を想像している。	① 自ら進んで形を作ろうとしている。 ② 学習内容を理解し、自ら取り組もうとしている。 ③ 自信をもって発表したり、注目して友だちの発表を聞こうとしたりしている。

10. 単元(題材)の指導と評価の計画(全6時間、本時は第5時)

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
1	1	・教室の中の丸・三角形・四角形を探す。	・教室の中から形を見つけてタブレットで撮影する。 ・撮影した写真を見て、プリントにももの名前を書いて分類する。	・形を見つけることが難しそうな児童への言葉かけをする。	A① B①
	2	・いろいろな三角形、四角形を分類する。	・三角形、四角形の特徴を知る。 ・三角形、四角形、それ以外の形をタブレットを活用して分類する。	・辺と角の数に注目して分類するように促す。	A②
2	3	・色板(直角二等辺三角形)2枚で形を作る。 ・色板3枚で形を作る。 ・発表する。	・プリントに色板を貼って、どんな形ができるか考える。 ・どんな形ができたか発表する。	・色板を回転させたり、裏返したりして、形を作るように言葉かけをする。 ・辺と辺どうしを付けること、色板を重ねないことをルールとして設定する。 ・前で発表している児童に注目するように促す。	B② C① C③
	4	・色板を使って、三角形と四角形を作る。(大小それぞれ2つずつ)	・プリントの枠組みに色板を貼って、三角形と四角形を作る。	・それぞれ何枚の色板でできるか考えられるようにする。 ・辺と辺どうしを付けること、色板を重ねないことをルールとして設定する。	B② C①
	5 本時	・色板を使って、好きな形を作る。 ・発表する。	・今まで作った形をもとに、身の回りの好きな形を作る。 ・ホワイトボードに形を作って発表する。	・形を作ることが難しい児童には、ヒントカード(見本や今までに作った形)を提示する。	B② B③ C① C②
	6	・発表する。 ・友だちが作った形を作る。	・ホワイトボードに形を作って発表する。 ・友だちが作った形を見て、作りたいものを選んで作る。	・前で発表している児童に注目するように促す。	B② C②

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・見本を見たり、自分で考えたりしながら、色板を使って形を作ることができる。(思・判・表)
- ・集中して課題に取り組むことができる。(学・人)

(2) 本時の評価規準

- ・色板を合成して形を作り、具体物を想像している。(B②③)
- ・集中して自ら課題に取り組もうとしている。(C①)

(3) 本時で扱う教材・教具

色板(児童用、教員用)、色板プリント、個別課題プリント、テレビ、タブレット、HDMI ケーブル

(4) 児童生徒の実態と本時の目標 略

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準(評価方法)
7分 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめのあいさつ ・本時の内容を確認する。 ・なまえ 名前をノートに書き、返事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前に注目するよう促す。 ・早く書き終わった児童には、プリント課題を渡す。 	
25分 展開①	<ul style="list-style-type: none"> ・色板を使って、好きな形を作る。 ・発表カードに形を貼る。 ・発表する。(3人) ホワイトボードに形を作って発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までに作った形(大小の四角形、三角形など)や見本を提示する。 ・形を作ることが難しそうな児童には、ヒントカードを渡す。 ・興味をもつことができるように、教員が形を作った動画を提示する。 ・課題の手順を示しておき、自主的に行動できるようにする。 ・児童の実態に応じて、言葉かけをする。 ・早くできた児童には、もうひとつ形を作ってよいと伝える。 ・前に注目するよう促す。 ・どんな形ができるか考えるように促す。 	B② B③ C① C③
10分 展開②	<ul style="list-style-type: none"> ・個別課題をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ画面にタイマーを提示する。 ・児童の実態に応じて、課題内容、枚数を設定する。 	

<p>3分 まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の内容 ・ おわりのあいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前に注目するように促す。 	
-------------------	---	--	--

(6) 教室配置等(正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す)

